



マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.3.23

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご覧いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、中東情勢の緊迫化と原油高が続く中、株式・債券ともに続落しました。NYダウとナスダック総合指数はいずれも週間で▲2.1%と4週続落、独DAX指数は同▲4.6%、日経平均株価は同▲0.8%とそれぞれ3週続落で終わりました。10年国債利回りは米国が前週末比+10bpの4.38%となり昨年7月以来の高水準に、ドイツは同+6bpの3.04%と終値としては2011年7月以来の水準、日本は同+2bpの2.28%に上昇しました。ドル円相場は前週末比50銭円高・ドル安の159円23銭、WTI期近は前週末比▲0.4%の98.3ドル/バレルに小幅低下しました。

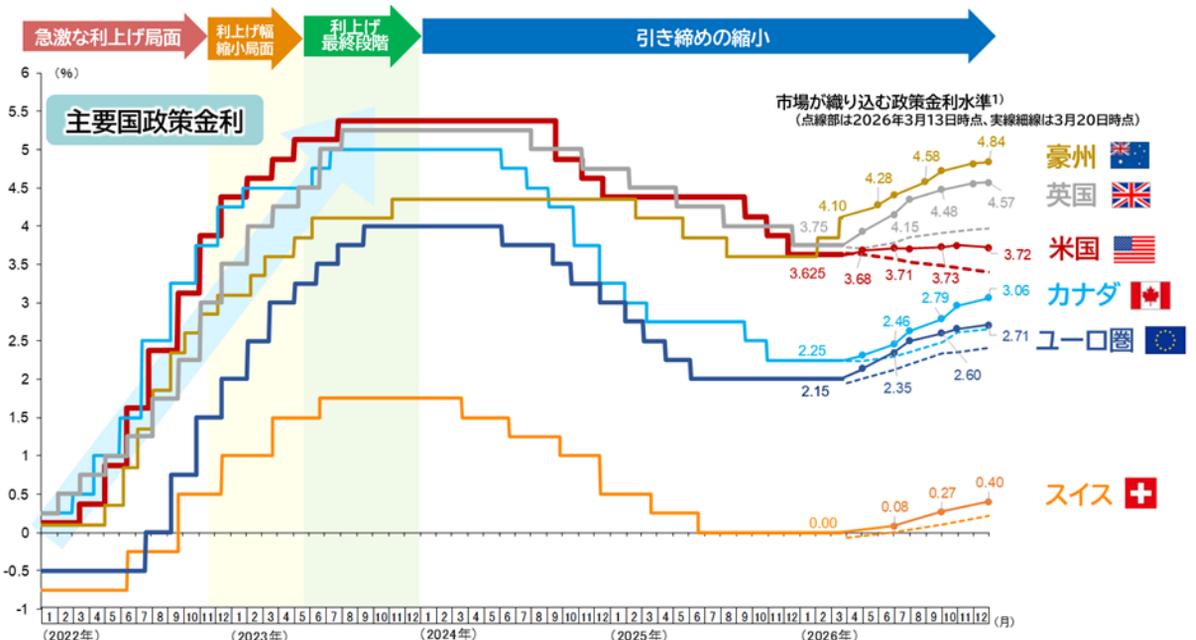
今週も、イラン情勢と原油価格が市場の変動要因となります。先週はエネルギー価格上昇によるインフレ上振れにより主要国中銀が年内利上げに動くとの見方が広がり、各国の長短金利が急上昇しました。各中銀要人の講演内容などから債券市場が落ち着きを取り戻すか注目されます。

当面の注目イベント

- ◆ 日・2月コアCPI (3月24日)
- ◆ グローバル総合PMI 3月速報値 (24日)
- ★ 独・3月IFO期待指数 (25日)
- ◆ 日・日銀短観3月調査 (4月1日)
- ★ 米・3月ISM製造業新規受注DI (1日)
- ◆ 米・3月雇用統計 (3日)

★：りそな景気先行指数関連指標

原油高によるインフレ再燃観測から、主要国が年内利上げに踏み切るとの見方が広がっています。米先物市場では26年末の政策金利は3.72%と現行の3.625%を上回り、FRBの次の一手は“利上げ”を織り込みはじめています



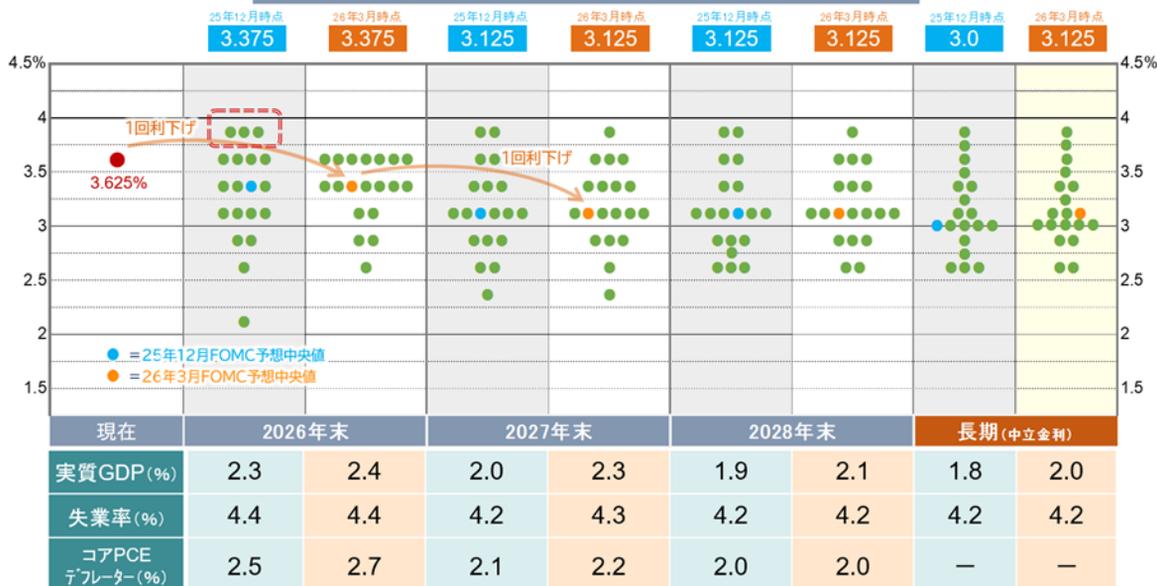
1) 米国・オーストラリアは先物、その他はOISが織り込み政策金利水準

【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。

FOMC委員の予想（中央値）では、26年・27年各1回の利下げ見通しが維持されました。26年内の利上げ予想はゼロとなり（12月は3名）、年内利上げを基本シナリオとする委員が存在しないことが示されました

FOMCメンバーのFF金利・経済予測（2026年3月時点）



【出所】FRBの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

S&P500指数は1月末に付けた最高値から▲6.8%下落し調整色が強まっています。昨年4月の相互関税発表後の株価下落場面と同じように、トランプ大統領が市場を落ち着かせるような対応をとるか注目されます



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年4月6日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡す「目論見書補完書面」を必ずご確認ください。うえご自身でご判断ください。